

「学力向上ポートフォリオ(小学校版)」

学力向上目標

令和3年度の研究主題として「主体的に考え、豊かに伝え合う七里っ子の育成」～よりよい生活の創造に向けた 特別活動の工夫・改善～ を掲げ、以下の3点に取り組む。

- 基礎的、基本的な知識・技能の確実な習得を図る
 - ・さいたま市学習状況調査の平均正答率を令和元年度の値より3pt向上させた値にする。特に活用問題の正答率を3pt向上させた値にする。「よい授業」アンケートの4つの因子の内、「2基礎アップ」の数値を全教職員が教職経験年次の目標値を上回る。
- 思考力・判断力・表現力を高める
 - ・令和3年度全国学力・学習状況調査の算数「思考力・判断力・表現力」で、平成31年度の「数学的思考方」より、自校の平均正答率を3pt向上させる。
- 主体的に学習に取り組む態度の育成
 - ・「よい授業」アンケートの4つの因子の内、「4児童生徒の活動」の数値を全教職員が教職経験年次の目標値を上回る。

具体的な手立て

- ① 学習規律を徹底し、学力の基礎的・基本的事項の確実な定着を図る。
 - ・「七小学びのスタンダード」を作成し、学習に集中する環境を整える。また、授業において、書く活動や自分の考えを伝え合う活動を積極的に取り入れることで、学習内容の確実な定着を図る。
 - ・令和3年度全国学力・学習状況調査、さいたま市学習状況調査及びその結果を分析し、児童の実態・課題を把握し、それらを授業に生かす。
 - ・エバンジェリストによるGIGAスクール構想充実のための月一回の研修を実施する。タブレット型コンピュータを活用した授業展開やドリル機能を使った個別学習を行う。(知識・技能)
- ② 全学年で発達段階に応じた学級会を確実に実施する。
 - ・研修を通し、学級会スタンダードを作成する。提案理由の書き方、学級会の進め方、学級会ノートの書き方、振り返りのやり方等を統一し、自分の考えをもち、伝え合うことができるようにする。(思考力・判断力・表現力等)
 - ・議題の意味のたせ方、議題の必要感の感じさせ方等、教師による支援を実施する。
- ③ ESDの考えとして「知る・考える・行動する・振り返る」を共通理解する。各教科等の単元計画の中で「知る」活動を位置付け、授業で実践していく。
 - ・教育活動を進めていくうえで、児童が身の回りの出来事と自分たちの生活がつながっていることを実感できるようにする。
 - ・さいたま市学習状況調査「生活習慣等に関する調査」の結果を分析する。児童自身が自分の現状を知り、身に付けたい力を考えていけるようにする。(主体的に学習に取り組む態度)

結果

- ・令和3年度全国学力・学習状況調査の算数「思考力・判断力・表現力」で、平成31年度の「数学的思考方」より、自校の平均正答率が15.7pt向上した。
- ・「よい授業」アンケートでは、「2基礎アップ」「4児童生徒の活動」の両方において、数値が目標値を上回った教職員は72%だった。

今年度の振り返り・次年度に向けて

思考力・判断力・表現力の目標を達成することができた。一方で、「よい授業」アンケートでは目標を達成できなかった。引き続き学習規律を徹底し、学力の基礎的・基本的事項の確実な定着を図れるよう「書く活動や自分の考えを伝え合う活動」を積極的に行っていく。また児童が「できる、わかる喜び」を味わい、主体的に学習に取り組める授業を行えるよう教職員全体で授業改善に取り組んでいく。